

下野市行政改革推進委員会 議事録

- ・審議会等名 令和3年度 第1回下野市行政改革推進委員会
- ・日 時 令和3年8月6日（金）午後2時00分から3時30分まで
- ・場 所 下野市役所 2階 203会議室
- ・出席委員 中村祐司会長、野田善一委員、川俣一由委員、角田充仙委員、中川賢一委員、中西稔委員、太田芳一委員、
- ・欠席委員 藤沼秀男委員、福田圭介委員、高橋志津子委員
- ・市側出席者 広瀬市長、山中副市長、小谷野総合政策部長、手塚総務部長、山中市民生活部長、福田健康福祉部長、栃本産業振興部長、保沢建設水道部長、近藤教育次長、
(事務局) 五月女総合政策課長、大塚主査、甲田主査、黒川主事
- ・公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)
- ・傍聴者 なし
- ・報道機関 なし
- ・議事録(概要) 作成年月日 令和3年8月30日

○次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 会長選任
- 5 会長あいさつ
- 6 議 事
 - (1) 下野市行政改革推進委員会について
 - (2) 第四次下野市行政改革大綱実施計画・令和2年度進捗状況報告について
 - (3) 令和3年度下野市行政改革推進委員会日程について
 - (4) その他
- 7 閉 会

○開会

(事務局) 令和3年度第1回下野市行政改革推進委員会を開会いたします。

○委嘱状交付

(事務局) はじめに、広瀬市長より委嘱状の交付がございます。委員を代表しまして、委員会委員名簿の一番上に記載の中村委員に委嘱状を交付させていただきます。

[委嘱状交付]

ありがとうございました。各委員の委嘱状については、お手元の封筒へ入れてございますので、ご確認ください。ここで、委員の皆様から自己紹介をい

ただきたいと思います。名簿順により、中村委員よりお願いいたします。

〔委員自己紹介〕

ありがとうございました。

続きまして、本日出席しております執行部職員の紹介をさせていただきます。

〔市執行部自己紹介〕

ありがとうございました。

○市長あいさつ

(事務局)

開会にあたりまして、広瀬市長より、ご挨拶を申し上げます。

(広瀬市長)

皆様、こんにちは。第一回の下野市行政改革推進委員会ということで、た
だいま委員を代表し、中村委員へ委嘱状を交付させていただきました。

委員の改選ということで、再任された方、新任の方おられますが、新型コ
ロナウイルス感染症の問題のある中で、今回の会議へお集まりいただいたこと、
また委嘱をお受けいただいたこと、改めて篤く御礼申し上げます。

こうして顔ぶれを見させていただくと、太田委員は行政経験があるというこ
とを何っており、中西委員は海外勤務で豊富な経験をお持ちでいる。

中川委員、角田委員には、さまざまな委員会へご出席をいただいている。

川俣委員、野田委員におかれましては、行政の中核にいたといっても過言で
はありません。

その中において、中村先生には、市のさまざまな役職をお請けいただいてお
り、栃木県の地域行政に見識を持ち、本市について知見を活かし議論いた
だくと同時に、他自治体の状況も含め、ご意見をいただくことができると考
えています。

今回新たな体制で、皆様のご見識をいただきながら、コロナウイルス禍と
いうこともありますので、今までにない形や環境における、持続可能な行政
運営について、また、行政改革に関しては間断なく未来へ向けて変化して
いくための見識をいただければと思います。

新型コロナウイルスによる問題については、新しい生活様式が当たり前のよ
うになってまいりましたが、まだ収束の目途がたたないところであり、ワク
チン接種後の世界を考えた際に、どうするべきかということを考えねばなら
ない場面にあると思います。

行政の強みは過去の歴史を把握し、前例踏襲を守るという面においてあると
いえませんが、弱いところは、新たな案件において前例がない時に、非常に考
えが固くなりがちになるということです。

行政職員が過去をふまえ、堅固な未来を作り上げる中において、今、市民の
皆さまが望んでいることについてご意見をいただいて、将来性を持つ下野市、
そして行政改革に知恵をいただければと思いますので、お力添えのほどよろ
しくお願い申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

(事務局)

ありがとうございました。

○会長選任

- (事務局) 続きまして、会長選任に移らせていただきます。下野市行政改革推進委員会条例第5条において、「委員の互選により定める。」となっております。広瀬市長には仮議長を務めていただき、会長の選任をお願いいたします。
- (広瀬市長) 会長が決まるまでの間、私の方で進行を務めさせていただきます。会長の選任ですが、委員の中から選任することとなっております。選任方法について意見を伺いたいと思いますので、委員の皆様からご発言をお願いいたします。
- (川俣委員) 推薦となりますが、宇都宮大学教授の中村先生にお願いしたいと思います。
- (広瀬市長) ありがとうございます。ただいま、中村委員の推薦がありました。委員の皆様いかがでしょうか。
- (委員一同) 異議なし。
- (広瀬市長) それでは、会長には中村委員で決定いたしましたので、議長の任を解かせていただきます。

○会長あいさつ

- (事務局) ありがとうございます。中村会長は、中央の席までご移動願います。
[中村会長移動]
- 次に、中村会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。
- (中村会長) 先程の市長のご挨拶にもありましたように、コロナ禍の急速な拡大の中、恐怖すら感じる状況ではありますが、コロナ禍の終息後も見据えた行政の在り方を問われるところです。
- 下野市の行政改革については、非常に丁寧に委員の意思を吸い上げてくれており、今後に生かそうという姿勢があります。
- 他の自治体を悪く言う意味ではないが、こういった審議はつい形式的になりがちであり、下野市は委員と市の直接のコミュニケーションで新しい発見を生み出させていただいています。
- オリンピックで賑わう一方で、コロナの不安の中、心が二つに分かれるような状況であり、蔓延防止に配慮しつつ今後も対面を継続することは中々困難なことであると思いますが、その中で、こうして対面し協議の場を設けていただいたこと、大変ありがたいと思います。限られた時間ではありますが、皆さまの知見をいただき、今後の行革へ行かせる議論ができればと思いますので、よろしくをお願いいたします。
- (事務局) ありがとうございます。ここで、市長につきましては、公務により退席させていただきます。
- [市長退席]
- 続きまして、行政改革推進委員会条例第5条第3項の規定に基づき、会長職務代理のご指名を、中村会長よりお願いいたします。
- (中村会長) 職務代理者として、川俣一由委員にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

○議事

(事務局) それでは、議事に入りたいと思います。行政改革推進委員会条例第6条によりまして、会長が議長になるとしておりますので、以後の議事進行につきまして、中村会長にお願いいたします。

(会議成立、会議の公開、会議録署名人の確認)

(中村会長) はじめに、会議成立確認と会議の公開の有無、会議録署名についてお諮りします。

本日の欠席委員は3名です。委員数10名のうち、過半数以上の委員が出席していますので、規定により会議は成立となります。

会議傍聴についてですが、本日の会議については、新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴を制限させていただくということでよろしいでしょうか。

(委員一同) 異議なし。

(中村会長) 次に、今回の会議録署名委員を指名いたします。名簿順により、野田委員、川俣委員にお願いいたします。

署名人の方は、次回の会議において、事務局が作成した本日の会議録へ署名していただくこととなりますので、よろしくお願いたします。

それでは議事に移ります。コロナ禍の会議ということで、迅速な議事進行としたいと思いますが、今回の会議の本題である議事の2では、なるべく時間をとって、意見の取り交わしをしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(1) 下野市行政改革推進委員会について

(中村会長) 議事(1) 下野市行政改革推進委員会について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局) [資料1に基づき説明]

(中村会長) 委員会について、事務局から説明がありました。各委員より質問等ございましたらお願いします。

[質問等なし]

(2) 第四次下野市行政改革大綱実施計画・令和2年度進捗状況報告について

(中村会長) 次に、議事(2) 第四次下野市行政改革大綱実施計画・令和2年度進捗状況報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) [資料2、3を基に説明]

(中村会長) 事務局より説明がありました。本日の会議については、こちらの議題がメインとなりますので、ご質問や意見等あれば発言をお願いします。

(中西委員) 今回初めて参加するので、基本的なところとなりますが、この会議は、なにを議論するものなのでしょうか

行財政改革とは、どんな課題がありどう変えていくか考えることであり、基本方針があるのはわかりますが、計画を2年3年と見ていっても、同じことを書いているように見えます。今の立ち位置がどこにあって、いつまでに何をすべきなのかを記載するのが必要と思われまます。今の下野市の行政サービ

スは、ほかの市と比べて、どの程度の位置にあるのか、どこまで議論されているなかで、計画が立てられているのでしょうか。

ただ活動が適正に運営されているかを議論するのが会議趣旨なのか教えていただきたい。

(山中副市長) 大綱をみていただくと、基本として目指すところは「質の高い行政サービス」や「効率的行政経営」「将来にわたり持続可能な財政運営」となります。

市の財政については現在のところなんとか堅持しているところではありますが、合併特例債が無くなることや、基本部分として市民税に支えていただいているところがあるので、今後重要となるのは市民参画や民間の力をいただくところであり、それが無いと成り立たないだろうと考えています。そのため、現在の行政の資質を最大限に生かさなければならぬと考えます。職員の質としても、合併16年がたち、半数以上の職員が町でなく市になってから採用されており、市としての意識を持つ職員が増えてきていますので、今後さらに意識を改善していかなければなりません。

また、公共財産を活かすために、いかに民間の力をいただく事ができるかを考えています。

そぎ落とすべきものは落としていくつもりですが、まだ足りない面もあり、またレベルを上げていかなければならないものもありますので、委員の皆さまからご指摘をいただければありがたいと思います。

(中西委員) 市の財政をいつまでにどのレベルまで変えていかなければならないのかという観点が必要だと思われませんが、大綱と実施計画の項目のギャップが離れすぎて感じるように感じます。

加速する人口減少のために、若い活力を活かし税収を上げる運営と、一方で無駄なものをいつまでにそぎ落とすという二つの取り組みが、ある程度の時間軸で盛り込まれていればと感じました。

(小谷野総合政策部長)

大綱を作る際には、第三次である前大綱と実施計画を見直し、さらに市や社会の情勢を反映し、委員の意見をいただきつつ策定しています。

実施計画には財政運営についてもいくつかの分野で位置付けております。その中で、数値目標も入れられるものは入っていますが、見えづらい部分があるというご指摘かと思えます。

実施計画で毎年の目標を定め、進捗を管理するというのが本会議の趣旨であります。

事業で足りないと感じた部分や、指標内容についてご提案をいただけるのであれば、検討させていただきたいと思えます。

(太田委員) 中西委員が言ってくれたが、大綱と実施計画がかい離しています。

無理に目標の数値化にこだわると、質の向上につながらないこともあります。大綱にもとづき取り組みの質が向上したかどうかを、いかに見える化するか、ということが必要かと思えます。

限られた予算、人員で質を向上させるには、日常の仕事のなかでいかに担当

課が日々効率化へ向けて積み上げているかが行政の質につながります。行政は需要があるから業務を行っているのであって、需要が無ければやめればいい。

また、組織運営は縦割りでなく横断的にやっていかなければならないと思います。

大綱について、7ページに記載される基本方針を具体化したものが8ページの推進項目にあります。これを読み込んでから実施計画の取り組みを見ていくと、それぞれかい離しているのが分かります。

(中村会長) いただいた話からいくつかお答えいただければと思いますが、横断的な取り組みという点についてはいかがですか。

(山中副市長) 色々な課題が生じればプロジェクトチームを構成し、行政需要へ対応できる体制を作っています。

(太田委員) 私が言っているのは、肩書きに関係なく誰でも自由に意見しあえるような取り組みの事です。

(山中副市長) 例えば下野市では、技術関係の知識を持つ職員層が弱い部分があり、今後公共施設マネジメント面から、施設維持管理にかかる市の財政負担を解決していかなければならないという課題を考慮し、組織を見直そうと進めているところでは。

その中で、職員の能力を活かせる体制を作ろうと進めている一例があります。

(太田委員) 専門的知識と知恵というのはまた異なる部分もあると思います。いかに知恵を出し合えるかというのは、日常の仕事の中から見つめなおしていく事が重要かと思えます。

(野田委員) 私からはやや個別的な意見になりますが、私は依然議員をやっております、何か問い合わせるために市役所へ電話などしますと、担当がいないので分からない。明日連絡してください。などと言われることがたびたびありました。これは悪しきセクショナリズムとでもいうべきか、自分の前の仕事はやるが、隣の人の仕事は分からないという状況がありました。

この延長に、かつての公金横領事件などの要因があったのではないのでしょうか。

現状は一体どうなのか、教えていただきたい。

(手塚総務部長) ご指摘の件については、過去の問題などを教訓に、体制を改革しなければならないと考え、グループ制による業務の共有を行い、一人がいなくてもグループが対応できるような体制を進めているところです。

また、内部統制制度なども今後必要になるということで、本市も制度整備を進めているところです。

(太田委員) また発言させていただくが、さきほどの意見について、私は決して市職員を責めているわけではなく、向いている方向は同じで、下野市を良くしたいという思いで発言しているので、了承いただきたい。

(中川委員) 市民のための行政改革ということで、この会議が行われているわけですから、よろしいのでは。

(中村会長) このあとの説明にもあると思いますが、我々が行っていく市民評価というのは、回数は限られています、可能な範囲で業務をピックアップし、評価できる貴重な作業なので、より良くするためにしっかり行っていきたいと思います。

それでは、資料3の実施計画についてですが、何かご意見あれば伺っていきたいと思います。

(太田委員) 意見はたくさんあるのですが、限られた時間の中では言い切れないものがあります。

(中村会長) この場で言い切れなかったことは、この会議の中以外でも聞いていただけるといっていいですか。

(小谷野総合政策部長)

資料3の実施計画に関するご意見等については、事務局までご連絡いただければ、検討させていただきたいと思います。

(中村会長) ありがとうございます。

(中西委員) 実施計画8ページの公募委員の目標達成率についてですが、公募の方がいらっしやらなかったということでしょうか。

(小谷野総合政策部長)

審議会の委員については、会議によって応募いただける方にばらつきがあり、市としては公募委員数が委員全体の20パーセント以上になるよう募集をかけるのですが、審議会によって中々応募者がいないという現状もあります。そのような会議の場合には、選任数が減り、20パーセントを達成できない会議も出てきます。

そのような課題解決のために、広く多くの方に応募いただけるよう、周知や啓発を工夫してまいりたいと思います。

また会議のあり方や回数などについても、多くの方にご参加いただきやすいよう今後工夫していかなければならない部分と考えておりますので、この項目の今回の評価についてはBとしております。

(太田委員) 公募委員については2つ以上の会議を兼任することができないことになっており、それも公募委員数に影響していると思われま。

広く募集するのであれば、兼務はなぜだめなのでしょう。

(中川委員) 関心があったり、意見が言える方というのは限られており、制限をなくしてしまうと、同じ人ばかり市の会議にいるというような状態になってしまうのだと思います。

だから行政としては、このような数値が出て公募委員が欲しくても、公平にするため目標を達成できなかったと言わざるをえないのではないのでしょうか。あの人ならやってくれるからという理由で声をかけるような話になってしまうのは、決していいことではないと思います。

例えば知らなかったというのはもったいないと思うので、最初にこんな会議へ参加してみませんかとか何人か直接募集して、声を拾ってみてもいいのではないのでしょうか。

(太田委員) 私は制限に何か意図があるのか純粋な質問だったので、そのあたりを教えてくださいいただければと思います。

(小谷野総合政策部長)

兼務については、中川委員もおっしゃられたように、同じ人ばかりが市政に参加するのでなく、広く市民参画を図るため制限しているものとなっています。

(太田委員) 実際に同じ人ばかりになる例があったのですか。

(小谷野総合政策部長)

あります。

(山中副市長) 下野市に多くの人材がいらっしゃることはわかっているのですが、そんな方々の声を聞く機会が中々なかったので、人材バンクなどの制度も作って、見識を持つ方々に登録してもらえるようにしています。

今後さらに参画の機会を広めていきたいと思っていますので、広く募集していることなどを伝える工夫をしていきたいと思っています。

(3) 令和3年度下野市行政改革推進委員会日程について

(中村会長) 次に、議事(3) 令和3年度下野市行政改革推進委員会日程について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) [資料4を基に説明]

(中村会長) 事務局から日程や今後の市民評価について説明がありました。

説明だけでは分かりづらい部分もありますが、やってみると市民評価の価値が分かるかと思います。

我々自身が作業を行うというのは貴重な機会だと思いますので、しっかりやりながら学んでいきたいと思っています。

(4) その他

(中村会長) 議事(4) その他について、お願いします。

(事務局) 本日の議事録については、調整次第、郵送にて送付させていただきます。内容等をご確認いただき、訂正等については、同封の返信用封筒で報告してください。次回会議において確認のうえ確定し、本日指名されました署名委員の方には、会議終了後に署名をしていただきますので、よろしく願いいたします。

(中村会長) それでは、本日予定されていました議事は終了しました。進行を事務局に戻します。

○閉会

(事務局) 以上をもちまして、令和元年度第1回下野市行政改革推進委員会を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長 中村 祐司

署名委員 野 田 善 一

署名委員 川 俣 一 由

